

新型コロナウイルス感染症対策本部（第9回）

日時：令和2年2月14日（金）

17時10分～17時25分

場所：官邸4階大会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 議 事

（1）新型コロナウイルス感染症への対応について

3. 閉 会

（配布資料）

資料1 厚生労働省提出資料

資料2 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の開催について

新型コロナウイルスに関連した 感染症の現状と対策

令和2年2月14日(金)

厚生労働省

新型コロナウイルスに関連した感染症の発生状況等について

※令和2年2月13日 18時時点

	中国※3	香港	マカオ	日本※1	韓国	台湾	シンガポール	ネパール	タイ	ベトナム
患者数	59804	50	10	33	28	18	50	1	33	15
死亡者数	1367	1	0	1	0	0	0	0	0	0

	マレーシア	オーストラリア	米国	カナダ	フランス	ドイツ	カンボジア	スリランカ	UAE	フィンランド
患者数	18	15	14	7	11	16	1	1	8	1
死亡者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	フィリピン	インド	イタリア	英国	ロシア	スウェーデン	スペイン	ベルギー	その他※2	合計
患者数	3	3	3	9	2	1	2	1	218	60376
死亡者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1369

※1 うち3例は無症状病原体保有者（症状はないが、検査が陽性となった者）

※2 国際輸送案件として、日本において、クルーズ船の乗員乗客のうち、218例が陽性と確認された件

※3 2月13日15時時点で中国の中央政府公表情報が未更新のため、2月12日11時時点のデータ

- 我が国では、1月15日以降、現在までに33例が確認された。日本での湖北省滞在歴のない感染者11例（A-6（国内6例目）、A-8（国内8例目）、A-12（国内13例目）、A-16（国内21例目））については、武漢市への滞在歴は確認されていない。A-6（国内6例目）は、武漢市からのツアー客を乗せたバスの運転手であり、A-8（国内8例目）は当該バスのガイドとして業務に従事。A-12（国内13例目）の方もA-6（国内6例目）の方の運転するバスにガイドとして乗車。A-16（国内21例目）については、勤務先で中国からの観光客（1日300人程度）を接客しており、本人は、湖北省から来日したと思われる観光客も含まれていたと話している。チャーター便帰国者のうち3例が無症状病原体保有者である。A-17（国内26例目）はダイヤモンドプリンセス号の検疫業務に従事していた検疫官。A-18からA-21については現在調査中。

新型コロナウイルスに関連した感染症に係る患者等の現状について

<国内事例(チャーター便を除く)>

※令和2年2月13日18時現在

	年代	性別	湖北省滞在歴	確定日	濃厚接触者
A-1(国内1例目、神奈川)	30代	男性	あり	1月15日	38名特定(健康観察終了)
A-2(国内2例目、東京)	40代	男性	あり	1月24日	32名特定(健康観察終了)
A-3(国内3例目、東京)	30代	女性	あり	1月25日	7名特定(健康観察終了)
A-4(国内4例目、愛知)	40代	男性	あり	1月26日	2名特定(健康観察終了)
A-5(国内5例目、愛知)	40代	男性	あり	1月28日	3名特定(健康観察中)
A-6(国内6例目、奈良)	60代	男性	なし	1月28日	22名特定(健康観察終了)
A-7(国内7例目、北海道)	40代	女性	あり	1月28日	2名特定(健康観察中)
A-8(国内8例目、大阪)	40代	女性	なし	1月29日	2名特定(健康観察終了)
A-9(国内10例目、三重)	50代(男性	あり	1月30日	3名特定(健康観察終了)
A-10(国内11例目、東京)	30代	女性	あり	1月30日	4名特定(健康観察終了)
A-11(国内12例目、京都)	20代	女性	あり	1月30日	なし
A-12(国内13例目、千葉)	20代	女性	なし	1月31日	1名特定(健康観察中)
A-13(国内17例目、千葉)	30代	女性	あり	2月4日	4名特定(健康観察中) ※うち1名は20例目
A-14(国内19例目、東京)	50代	男性	あり	2月4日	調査中
A-15(国内20例目、千葉)	40代	男性	あり	2月5日	2名特定(健康観察中)
A-16(国内21例目、京都)	20代	男性	なし	2月4日	1名特定(健康観察中)
A-17(国内26例目、神奈川)	50代	男性	なし	2月11日	調査中
A-18(国内27例目、神奈川)	80代	女性	なし	2月13日	調査中
A-19(国内28例目、東京)	70代	男性	なし	2月13日	調査中
A-20(国内29例目、和歌山)	50代	男性	なし	2月13日	調査中
A-21(国内30例目、千葉)	20代	男性	なし	2月13日	調査中

現在入院中の者：
21人中9人

新型コロナウイルスに関連した感染症に係る患者等の現状について

※令和2年2月13日18時現在

<チャーター便帰国者(有症状者)>

	年代	性別	湖北省滞在歴	確定日	濃厚接触者
B-1 (国内9例目)	50代	男性	あり	1月30日	なし
B-2 (国内14例目)	40代	男性	あり	2月1日	なし
B-3 (国内15例目)	40代	男性	あり	2月1日	2名特定(健康観察中)
B-4 (国内16例目)	40代	男性	あり	2月1日	11名特定(健康観察中)
B-5 (国内18例目)	50代	女性	あり	2月4日	なし
B-6 (国内22例目)	50代	男性	あり	2月5日	なし
B-7 (国内23例目)	20代	男性	あり	2月8日	2名特定(健康観察中)
B-8 (国内24例目)	40代	男性	あり	2月10日	2名特定(健康観察中)
B-9 (国内25例目)	50代	男性	あり	2月10日	なし

新型コロナウイルスに関連した感染症に係る患者等の現状について

＜チャーター便帰国者（無症状病原体保有者）＞ ※症状はないが、検査が陽性となった者

※令和2年2月13日18時現在

	年齢	性別	湖北省滞在歴	確定日	濃厚接触者
1例目	40代	男性	あり	1月30日	調査中
2例目	50代	女性	あり	1月30日	9名特定（健康観察中）
3例目	30代	男性	あり	1月31日	調査中
4例目	50代	男性	あり	1月31日	なし
5例目	30代	男性	あり	2月1日	なし

※1例目は、2月1日に発熱等の症状が認められたため、B-4（国内16例目）として記載。
※4例目は、1月31日に発熱等の症状が認められたため、B-6（国内22例目）として記載。

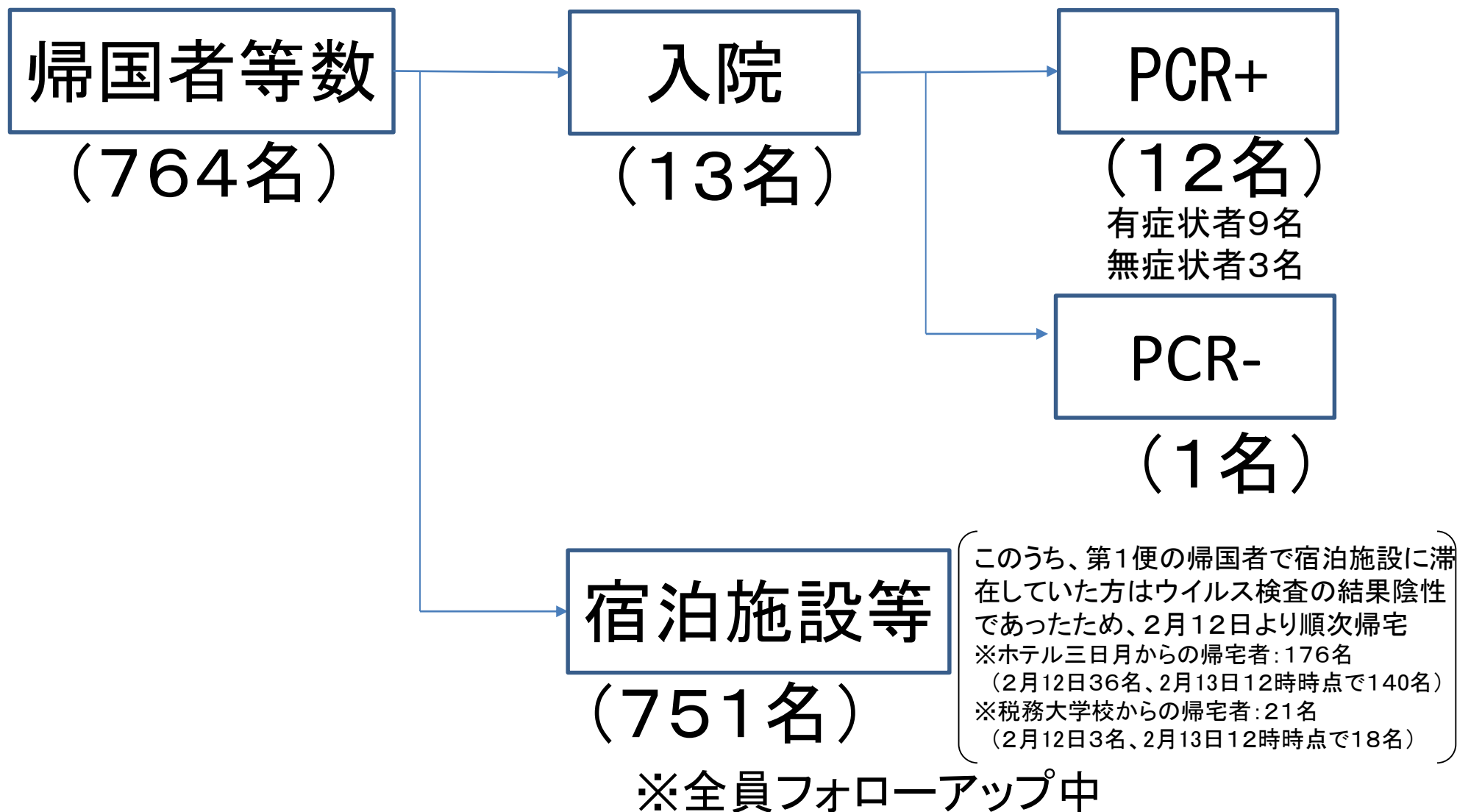
現在入院中の者：
12人中11人

新型コロナウイルス感染症の予防・体制について（メモ）

- 新型コロナウイルス感染症については、日常的な感染予防策として、手洗いや、咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖をつかって、口や鼻をおさえる「咳エチケット」などにしっかりと取り組んでいただくことが重要です。
- また、特に高齢の方や基礎疾患をお持ちの方については、人混みの多いところはできれば避けていただくなど、感染予防にご注意をいただくようお願いいたします。
- 咳や発熱等の症状がある方で、特に、高齢者の方や基礎疾患をお持ちの方で、症状に不安がある際には、帰国者・接触者相談センターに電話で相談していただくようお願いいたします。センターでは、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、帰国者・接触者外来におつなぎしていますので、マスクを着用の上、受診していただくようお願いいたします。
- この帰国者・接触者外来については、住民の方々へ公表していないため、国民の皆様にはまずは帰国者・接触者センターにご連絡していただき、そこから適切な医療機関を紹介していただく仕組みとしております。

- 2009年の新型インフルエンザの際に、一部地域（神戸）で特定の医療機関に外来受診が殺到し、急を要する患者の対応に時間がかかってしまった経験から、このような仕組みとしております。国民の皆様に必要な医療を適時適切にお届けするための仕組みであり、ご理解をいただきたいと思っております。

帰国者等の現在の滞在場所(2月13日12:00現在)



クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」の乗客・乗員の現在の状況

2月14日(木)12:00時点

乗員 1,045名
乗客 2,666名
合計 3,711名
※2月3日

入院

※一部、乗船継続し搬送準備中の方がある

(PCR+ 218名)

乗員 21名

乗客 197名

乗船継続

(3,437名)

※全員フォローアップ中

急病や付き添い
等で下船

(56名)

報道関係者 各位

令和2年2月13日

【照会先】

厚生労働省

医薬・生活衛生局検疫業務管理室

検疫業務管理室長 大重 修一（内線 2461）

室長補佐 石田 恵一（内線 2463）

健康局 結核感染症課

感染症情報管理室長 梅田 浩史（内線 2389）

係長 山田 大悟（内線 2387）

（代表電話）03(5253)1111

横浜港で検疫中のクルーズ船内の乗客の皆様 に関する今後の対応について

- 令和2年2月3日に横浜港に到着したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」については、海上において検疫を実施中ですが、船内におられる乗員・乗客の皆様の健康を確保するため、乗客の皆様には御自身のそれぞれの個室で過ごしていただくようお願いするとともに、発熱や咳など呼吸器症状のある方に対しては新型コロナウイルス検査を実施して、陽性であれば下船し、医療機関で治療することで、船内での感染拡大を抑止してまいりました。
- 一方で船内には、ご高齢で基礎疾患を抱えている方もおり、また、潜伏期間が経過するまで、窓のない部屋に長期間滞在せざるを得ないため、持病を悪化させ健康に障害をもたらすおそれのある方もおられます。
- このため、新型コロナウイルス感染症とは別に、健康障害のリスクが高いと考えられる方については PCR 検査を実施し、陰性が確認された方については、下船して政府が用意する宿泊施設で生活していただくか、そのまま船内に留まっていただくか、御本人の意向を確認することとしました。
- 具体的には、2月14日から、80歳以上の方について、
 - ・船内で窓のない部屋と、窓はあっても開閉できない窓しかない部屋で生活されている方
 - ・基礎疾患などを抱えている方について御本人が希望する場合は新型コロナウイルス検査を実施し、陰性が確認された方につ

いては、御本人が下船を希望するのであれば、下船し、潜伏期間が解消するまでの間、政府が用意する宿泊施設においてお過ごしいただくこととしました。

- 今後、79歳以下の方についても、80歳以上の方と同様の対応を順次進めてまいります。
- なお、検査の結果、新型コロナウイルスの陽性が確認された方については、感染症病棟を有する医療機関において治療いただきます。
- 当該クルーズ船に対する検疫は、引き続き実施しています。必要な方には引き続き新型コロナウイルス検査を実施しており、その結果等については、追って公表いたします。

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の開催について（案）

令和 2 年 2 月 日
新型コロナウイルス
感染症対策本部決定

- 1 新型コロナウイルス感染症対策本部の下、新型コロナウイルス感染症の対策について医学的な見地から助言等を行うため、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議（以下「専門家会議」という。）を開催する。
- 2 専門家会議の構成員は、別紙のとおりとする。ただし、座長は、必要に応じ、その他関係者の出席を求めることができる。
- 3 専門家会議の庶務は、厚生労働省等関係行政機関の協力を得て、内閣官房において処理する。
- 4 前各項に定めるもののほか、専門家会議の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

(別紙)

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

座長 脇田 隆宇 国立感染症研究所所長

副座長 尾身 茂 独立行政法人地域医療機能推進機構理事長

構成員 岡部 信彦 川崎市健康安全研究所所長

押谷 仁 東北大学大学院医学系研究科微生物分野教授

釜菴 敏 公益社団法人日本医師会常任理事

河岡 義裕 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター長

川名 明彦 防衛医科大学内科学講座（感染症・呼吸器）教授

鈴木 基 国立感染症研究所感染症疫学センター長

舘田 一博 東邦大学微生物・感染症学講座教授

中山 ひとみ 霞ヶ関総合法律事務所弁護士

武藤 香織 東京大学医科学研究所公共政策研究分野教授

吉田 正樹 東京慈恵会医科大学感染症制御科教授

(五十音順)